

1 授業実践について

(1) 学年・単元名

第 (3) 学年 単元名「 じしゃくのふしぎ 」

(2) 単元学習計画案

学習過程	児童の学習活動	時数
ふれる	・じしゃく同士で引き合ったり、退け合ったりすることを学習する。	1 時間
	・ハサミの鉄の部分とプラスチックの部分にじしゃくを近づけた時の様子を観察する。	1 時間 (本時)
さぐる	・身の回りの様々な物が磁石にくっつくか、そうでないかを調べる。	1 時間
	・じしゃくにくっつく物についてまとめる。	1 時間
	・じしゃくにくぎをつけると、くぎがじしゃくになることを学習する。	1 時間
いかす	・電気を通すもの、じしゃくにつくものについてまとめる。	1 時間
	・実験キットを用いて、磁石遊びを行う。	1 時間

(3) 想定される展開

想定される学習活動や児童の様子	想定される指導
<p>○じしゃく同士は引き合ったり、退け合ったりすることから、じしゃく以外の物についてもどうなるか疑問を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハサミはくっつくと思う。 ・金属だからくっつく。 ・持つところはくっつかない。 <p>○活動をして、結果をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切るところはくっついて、持つところはくっつかない。 ・鉄の部分は引き合った。 <p>○じしゃくにくっつくものについて予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄はくっつく。 ・金属はくっつく。 ・紙やプラスチックにはくっつかない。 	<p>○個人で使用しているハサミにじしゃくが引き合うか問うことで、疑問を持たせる。</p> <p>○実験結果を自分の言葉でまとめさせる。</p> <p>○ハサミの材料に着目させることで、じしゃくにつきそうなものを考えさせる。</p>

2 全体を通しての所感

<p>理科に意欲的な児童や実体験などから磁石にプラスチックはつかないことを理解している児童は多いと思われる。しかし、磁石につくものは金属であると誤った認識をする児童も多くいると思われるため、本時にアルミを提示する方法もあると感じた。しかし、低位の児童が理解できなくなる可能性もあるため、改めて問題提示の大切さについて実感した。</p>
